

監査委員決算審査報告

8月4日（月）から7日（木）にわたり、平成25年度一般会計決算と特別会計決算・企業会計決算と事業実施状況について審査を行い、その結果、次の意見を付しての報告がありました。

監査委員 加藤木 昭 博
監査委員 阿久津 則 男

- 収入未済額は年々増加してきている。各課との連携を密にし、滞納者には早期に対応し、悪質な滞納者には、「滞納は絶対に許さない」という毅然とした態度で臨み、法的措置を講ずるなど、さらに実効性のある収納対策を図り、滞納の解消、収納率の向上に引き続き努められたい。
- 合併による普通交付税の特例措置は平成31年度までで、平成27年度以降からは段階的に減額され、大幅な財源不足を生ずることが予想される。また、自主財源の確保が今後の地方自治体運営にとって緊要な課題であり、中長期的な財政計画等により、持続性のある行政運営を図ることが望まれる。
- 公営企業会計は独立採算制が原則であり、収入未済額の増加は経営圧迫の要因にもなる。水道事業会計においても、収入未済額の解消に更に全力で対処するとともに、年間給水量及び年間有収量を的確に把握し、供給単価を考慮し販売損失の抑制に努め、独立採算性を基本とした適正な水道料金体系による企業経営に、より一層努められたい。
- 地方財政にとってはまだまだ厳しい状況が続くことが予想されるので、真の住民サービスとは何かを常に頭に置き、住民が安心して生活できる生活環境を望むものである。

財務比率

	平成25年度	平成24年度	平成23年度
財政力指数	0.38	0.38	0.39
経常収支比率(%)	85.8	88.7	88.8
公債費比率(%)	9.7	10.7	11.2
起債制限比率(%)	9.1	10.0	7.1
地方債現在高	106億3,642万円	111億1,262万円	116億5,621万円

財政力指数……………「1」に近いほどよく、「1」を超えるほど財源に余裕があることを示す。

経常収支比率……………おおむね70%から80%が標準とされる。

公債費比率……………高いほど自由に使える財源がせばまる。おおむね10%程度

起債制限比率……………過去3年平均で20%以上になると起債の許可が一部制限される。

近隣町村との比較

数字で比べてもかなり厳しい!! 今後の財政はどうなる？

決算見込みを的確に把握して、予算編成及び予算補正を適切に行うなど、限られた財源の効率的な運用を図るよう努めることが大事である。

	財政力指数	経常収支比率(%)	実質公債費比率(%)
城里町	0.376	88.7	14.3
茨城町	0.541	81.6	10.7
大洗町	0.740	94.7	7.1
大子町	0.308	83.3	9.8
常陸大宮市	0.443	87.4	12.4

※「茨城県市町村概況（平成26年度版）」より抜粋

実質公債費比率

率が高いほど財政運営が硬直化していることを示しており、18%以上の団体は地方債の発行に際し許可が必要となり、公債費負担適正化計画を策定し、財政の健全化を図る必要がある。さらに、25%以上の団体は一定の地方債の発行が制限される。

平成25年度特別会計決算

特別会計及び企業会計の決算は以下のとおりです。

会計名		歳入総額	歳出総額	差引額
国保	事業勘定	24億9,395万3千円	24億4,791万4千円	4,603万9千円
	施設勘定	2億5,029万4千円	2億3,345万2千円	1,684万2千円
後期高齢者医療		1億8,204万4千円	1億8,199万6千円	4万8千円
介護	保険事業	17億6,720万9千円	17億6,239万3千円	481万6千円
	サービス事業	501万9千円	501万8千円	1千円
公共下水道事業		11億148万9千円	10億8,210万円	1,938万9千円
農業集落排水事業		3億1,320万5千円	3億669万9千円	650万6千円
水道	収益的収入・支出	6億953万6千円	5億7,105万9千円	3,847万7千円
	資本的収入・支出	2億9,472万7千円	5億5,364万2千円	△2億5,891万5千円